

ケーススタディの論点

井上光太郎

ケーススタディによるクラスは、講師からのレクチャーではなく、皆さんの検討した問題点を討論して、そこから学ぶものです。そのため、何よりも事前の皆さんの準備が重要になります。以下に、ケーススタディの論点を挙げますが、まずは各ケースで何が論点になるかを考えてみて下さい。その上で、以下に挙げていない論点でも、疑問に思えば積極的にクラスの中で問題提起してください。ポッカのケースについては、よりファイナンス的なケースです。数値に基づく意思決定が必要ですので、これまで授業で学習した株式価値評価方法や割引率（1月7日の講義予定の加重平均資本コスト（WACC）も必要になります）などを参考に、自分でスプレッドシートを展開して、数値検討をしてみてください。花王のケースは、企業の成長戦略と財務管理の関係を検討するケースです。様々な視点があると思いますので、トップマネジメントの視点で自由な発想で検討してみてください。

必要に応じて、事前にこの授業のTAなどにも相談して準備を進めて下さい。

ポッカコーポレーション 2005年6月

1. ポッカはMBOするべきなのか？メリットとデメリットを整理し、検討せよ。
2. ポッカの現状の株価はファンダメンタルズに比較して適正か？一般株主に説明のつく買収価格はどの程度か？
3. (応用問題) ポッカに対する投資は、アドバンテッジパートナーズにとっては高い投資リターン（IRR）を実現する投資となりうるか？

花王株式会社

1. 花王は現在（2001年時点）、どのような事業・経営環境に直面しているか？
2. 花王のトップマネジメントは、どのような財務戦略を進めてきたか？また、今後は株主価値を高めるためにどのような戦略を展開していくべきか？EVAは、そこでどのような役割を果たせるか？

以上